

Blue Prism 運用管理コース 学習概要

1 Blue Prism環境構成の理解

Blue Prismの一般的なトレーニングや、小規模の環境では、データベースやAPサーバー等を全て1つの環境にまとめているケースが多いです。しかしながら、実運用の環境では、それぞれが独立しているケースが一般的です。本章では、Blue Prismの運用管理を行う上で、最低限把握しておくべき、環境構成に関して説明します。

- ・Blue Prismで必要なリソースの種類
- ・各リソースの概要

2 コントロールタブ

Blue Prismで開発を行うときに、コントロールタブからプロセス実行(セッション実行)をしたことがあるかと思いますが、ここではそのタブ内の機能を掘り下げて説明します。また、よく使われるスケジュール実行や各種ログの見方なども取り扱います。

- ・コントロールタブ
- ・セッション管理
- ・キュー管理
- ・スケジューラー
- ・スケジュールログ
- ・セッションログ

3 ユーザー・役割の管理

Blue Prismではログインユーザー毎に、細かな権限設定が可能です。機密情報を扱うケースもあるかと思うので、適切なユーザーに適切な権限を与えて管理出来るようにする必要があります。本章ではその概要を説明します。

- ・ユーザー管理の種類
- ・役割
- ・ユーザー
- ・マルチチーム

4 システムタブ

Blue Prismの各種システム設定は、すべてこのシステムタブに集約されています。その中でも使用頻度が高い設定について、本章で説明します。

- ・システムタブ
- ・プロセス・オブジェクトのリタイア
- ・環境変数
- ・ワークキューの作成
- ・サインオンの設定
- ・認証情報
- ・監査ログ
- ・システム設定
- ・アーカイブ
- ・スケジューラー
- ・カレンダー
- ・レポート

Blue Prism 運用管理コース 学習概要

5 アナリティクスタブ

Blue Prismの実行結果は、データベースに格納されています。そのデータを集計し、グラフにマッピングすることで、視覚的にBlue Prismの実行状況を確認することができます。本章では、アナリティクスタブで取り扱えるダッシュボードとタイルについて説明します。

- ・アナリティクスタブ
- ・ダッシュボードとタイル

6 リリース作業

Blue Prismの開発と、実運用では、それぞれ別々の環境(開発環境・本番環境)を用意することが一般的です。本章では環境間におけるBlue Prismプロセスのリリース作業の手段について説明します。

- ・リリース作業の手段
- ・プロセス・オブジェクトのエクスポート・インポート
- ・リリースファイル
- ・競合時のオプション
- ・リリースファイルインポート時の注意点